
平成25年度 今後の都市部におけるコミュニティの
あり方に関する研究会の進め方(案)

2013年6月24日

1. 平成24年度 研究会成果

研究会の趣旨

- 都市部のコミュニティについては、近年、その機能が十分に発揮されなくなっており、孤独死や社会的孤立問題の深刻化を招くなど、大きな社会問題と捉えられる。
 - 都市部のコミュニティの弱体化は「高齢者所在不明問題」等の社会現象の要因の一つとして指摘
 - 災害対応の観点からも都市部のコミュニティの機能について関心が高まる

**都市部のコミュニティの実態を把握し、今後の都市部における
コミュニティのあり方、コミュニティ再生の社会的方策を検討**

港区、葛飾区への調査を実施

都市部のコミュニティに対する知見

中間報告(論点整理)より

- ①自治会・町会加入率の低下
- ②近所付き合いが希薄
- ③活動の担い手不足
- ④支援が必要な住民への対応
 - ・個人情報保護の問題場度から、災害時の要援護者の情報が自治会等で把握できない。
- ⑤マンションと自治会の関係
 - ・マンションの自治会加入率の低下
- ⑥防災面への取組の期待
 - ・住民の防災に対する意識は高い傾向にある。

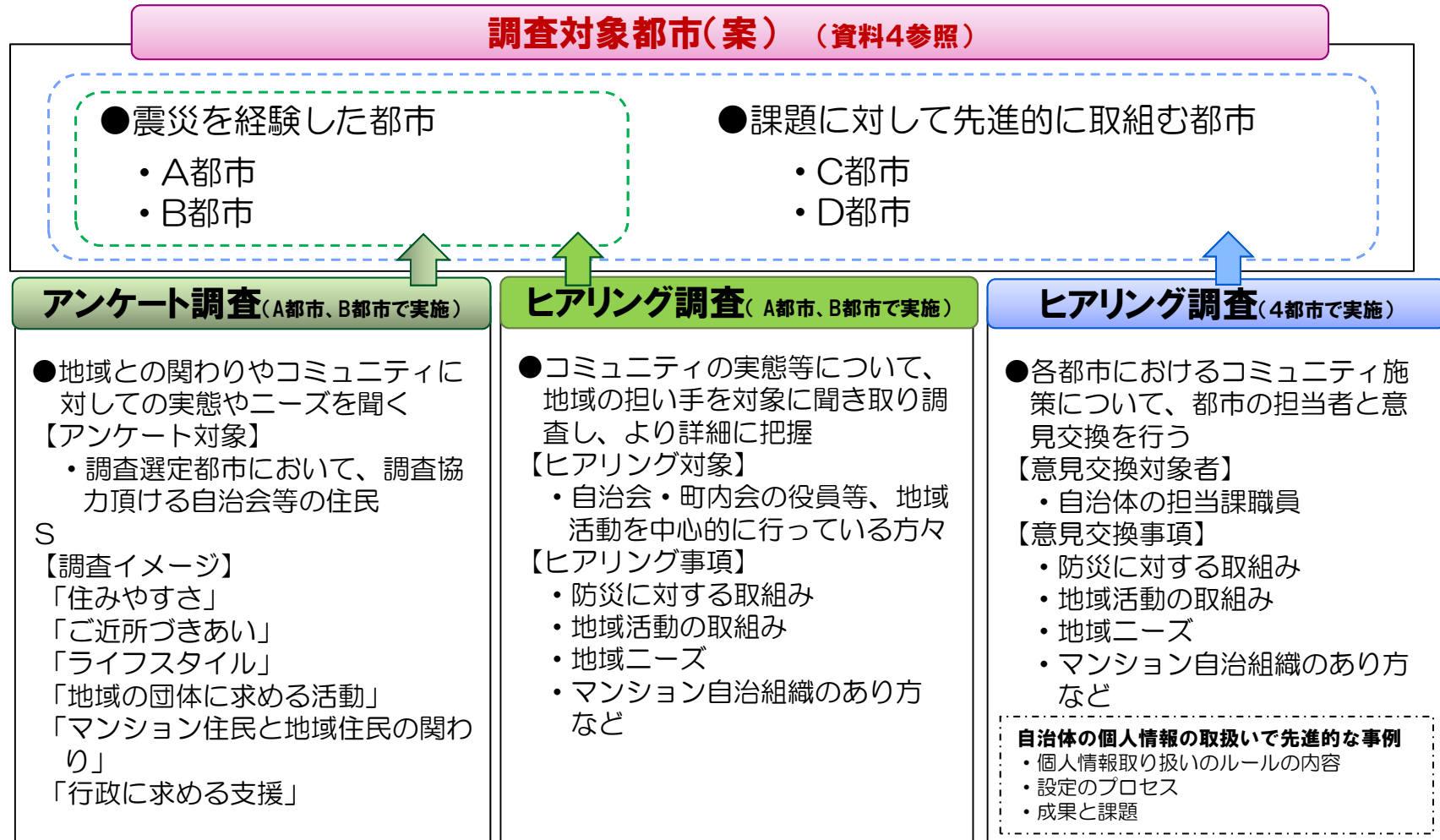
3つの課題

中間報告(論点整理)より

1. 災害対応や地域における活動の多様な担い手と自治会の関係
 - ・地域の企業や民生委員など、多様な主体と連携した地域活動
2. マンションと自治会等の関係
 - ・自治会とマンションの双方にとって良い関係の構築
3. 個人情報保護対策などにおける自治体と自治会等の活動の関係
 - ・条例の工夫等による要援護者の支援体制の構築

2. 平成25年度の調査の進め方(案)

- 今年度は調査対象を地方圏の都市に拡大し、都市部のコミュニティの実態調査を行う。
- 設定した課題を踏まえ、「震災を経験した都市」「課題に特徴的な取組を行う都市」から、数か所の都市を主な調査対象として選定する。



3. 研究会のスケジュール(案)

調査スケジュール	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 全国の都市部のコミュニティに関する実態調査	→									
(1) 調査対象地域の選定	→									
調査対象地域(案)の選定	■	■	■							
地元自治会等との調整		■	■							
(2) アンケート調査の実施	→									
調査票設計		■	■							
配布		■	■							
回収				■	■	■	■			
分析				■	■	■	■			
(3) ヒアリング調査の実施	→									
C都市、D都市				●	●					
A都市、B都市						●	●			
(4) 実態調査取りまとめ							→	→		
2. 都市部のコミュニティに関する資料の収集、分析	→									
3. 調査結果のとりまとめ								→	→	→
4. 研究会の開催	●					●		●	●	●

